

データ作成について（白打ち、白版）

PVC商品印刷注意点

◆白打ち（白押さえ・白印刷）とは？

透明PVC・オーロラ・ラメなどの素材に4色印刷をすると、白い紙や布などの印刷とは違って、発色が薄くなり、半透明で色な印刷になります。

色の発色をキレイにするためには「白印刷」が必要となります。
白打ち（白押さえ・白印刷）は一度白いインクで塗ってからからその上にカラー印刷する方法です。

もちろん、わざと白打ちレイヤーを使わずに半透明のデザインも可能です。

◆レイヤーの設定

テンプレートは商品によって違いますが、トンボ・仕上げラインなどのレイヤーは消さないでください。

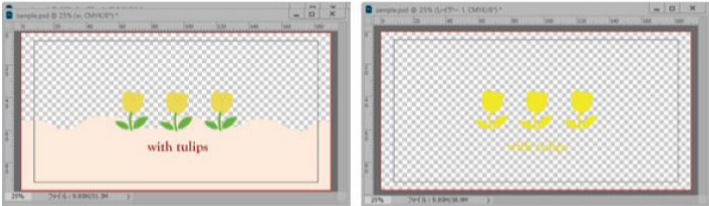
カラー印刷のレイヤーを1枚・ホワイトレイヤーを1枚が必要です。
※白印刷無しの希望の場合は、必ず注文備考欄にご記入ください。



カラー印刷レイヤー(CMYK)
ホワイトレイヤー(白印刷)
印刷範囲内に配置してください。

白押えのレイヤーはY100で設定をお願いしておりますが、RGB入稿の場合はK100も構いません。ただし、レイヤー名は必ず表記してください。

◆データ作成例1



カラー印刷レイヤー

白印刷レイヤー

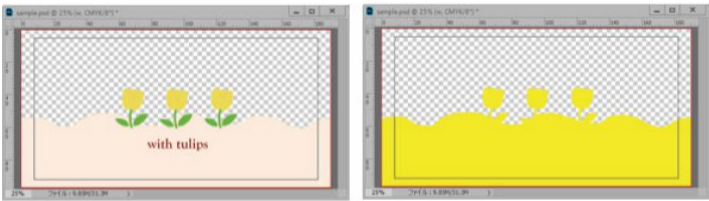


175mm x 85mm

完成の予想図1

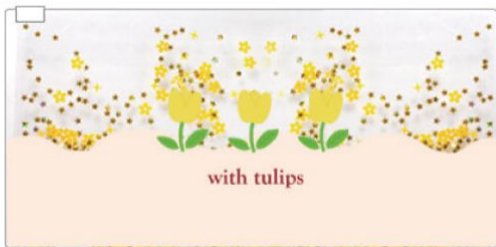
花の部分だけ白打ちが入っているため、入っていない部分は半透明になります。

◆データ作成例2



カラー印刷レイヤー

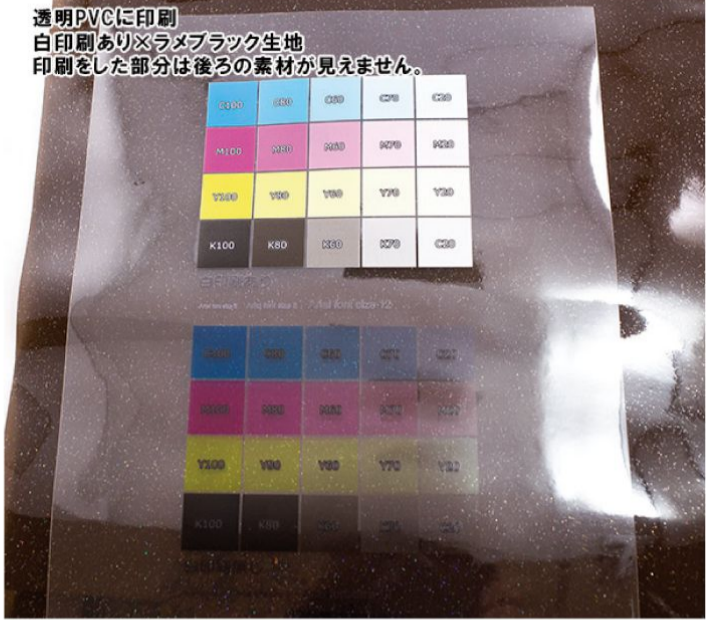
白印刷レイヤー



175mm x 85mm

完成の予想図2

白打ち印刷が入っている部分は後ろの素材やグリッターが見えせん。



透明PVCに印刷
白印刷無し×ラメブラック生地
印刷をした部分の色が半透明になって、後ろの素材が見えます。



白打ち無しでカラーのみでも印刷は可能ですが、半透明な感じになります。



左：オーロラ素材に印刷、後ろが白の場合は白印刷なしでもくっきり見えます。
右：ラメブラック素材に印刷、素材の色が濃い場合、白印刷なしではカラーがほとんど印刷されません。

※カラーレイヤーのみのホワイト白は半透明表現ができません。
白打ち無しでカラーレイヤーにホワイト色を入れても、
実際の商品には印刷されません。必ず白打ちレイヤー、白版を作成してください。

※白打ちレイヤーの不透明度の調整で白インク量の調整ができます。
白打ちレイヤーでホワイト色の半透明表現、グラデーション表現ができます。

データについて何かご不明な点がございましたら data@jinnyland.net へご連絡ください。